

へいせい ねん がつ ごう さいがい
 ~平成 30 年 7 月豪雨災害~

ひがしく さいがい
 東区災害ボランティアセンターのしくみ

さいがい
 災害ボランティアセンターとは…

被災者が一日も早く日常生活を再開させることができるよう、市区町社会福祉協議会（社協）が設置。「ボランティアの支援が必要」な被災者と「被災者を支援したい」という活動者をおつなぎします！

つなぎます

ボランティアの支援が必要

被災者を支援したい



ひさいしゃ
 被災者

ひさいしゃ しえんいらいうけつけ げんちかくにん ちょうせい
 被災者からの支援依頼受付 → 現地確認 → ボランティア調整

かつどう なが
 活動までの流れ

かつどうしゃ
 活動者

かつどう なが
 ボランティア活動の流れ

かつどうまえ
 活動前

うけつけ
 ボランティア受付

ボランティアを事前に募集し、登録制に！支援依頼に合わせてボランティアを調整



かつどうご
 活動後

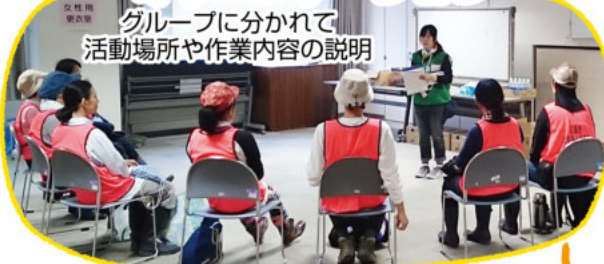
でむか
 お出迎え

お疲れ様です



オリエンテーション

グループに分かれて活動場所や作業内容の説明



ながくつ せんじょうちゅう
 長靴の洗浄中

帰ってきたら手洗いうがい資機材などを洗浄



みおく
 お見送り

運営ボランティアが大活躍！



企業などからいただいた支援物資をお渡し



へいせい ねん がつ ごうう さいがい
～平成 30 年 7 月豪雨災害～

ひがしく さいがい かつどう きろく
東区での災害ボランティア活動の記録

ありがとう



延べ880名を超えるボランティアが、被災者の復興を願い、「何か力になれば」という思いで
かけつけてくださいました！
みなさんの支援に感謝、感謝です！



女性も大活躍！



連携プレーで土のう運搬

活動完了！みんな笑顔に
(被災者 × ボランティア)



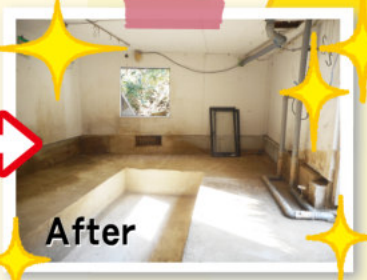
床下の土砂をみんなで取り出しました！



わ～～！すごくきれいになった



Before



After

トピック

きずな かつどう たが はげ
「絆」～ボランティア活動が互いの励みに～

東区災害ボランティアセンター（VC）では、活動が複数回必要な被災者の元には、可能な限り同じボランティアを調整しました。活動を重ねるごとに、被災者とボランティアが顔なじみになり、安心感が高まったことで、会話が増えていきました。その関わりが互いの励みとなって、被災者は前向きに生活再建を目指し、ボランティアは被災者の想いに応えようと、一層活動に力が入りました。



はたひ 畑もできるようになったよ！



へいせい ねん がつ ごうらう さいがい
 ~平成30年7月豪雨災害~

ちいき なか
 地域の中でできること

はっさい

被災したら

被災地域では、自分の身を守り、となり近所の安否確認や避難誘導、被害状況の把握、避難所の運営などの対応に追われます。

実際に平成30年7月豪雨災害の時には、地(学)区社協(地区社協)を中心に地元の方々による被災者の復興・復旧活動が行なわれました。

ひさいしゃ しえん
 被災者の支援は
 どうしたらいいの？



地域の強み
 活かしてるね



ちいき しえん ほうほう
 地域でできる支援方法

ちいき うんえい
 地域のつながりを活かした運営！

~ボランティア募集から活動まで~

じょうほうしゅうしゅう
 1 情報収集

・被害状況などの把握

かつどうまえ じぜん じゅんび
 2 ボランティア活動前の事前準備

・ボランティア募集(町内会の回覧板など)
 ・活動資機材などの手配(スコップ・トイレなど)

うけいれ
 3 ボランティアの受け入れ

・受付(保険加入手続きなど)
 ・被災者宅への案内



ちいきだんたい ちから かつどう
 地域団体の力でボランティア活動！

地区社協・女性会・老人会
 ・施設・企業 など



ボランティア受付の様子



地区社協の
 メンバーによる事前説明



ボランティアバンクの
 メンバーによる活動

ちいき まどぐち
 地域の窓口として

ひさいちく しゃきょう ひがしくさいがい
 ~被災地区社協 × 東区災害VC~

ひさいしゃ かお
 ●被災者との顔つなぎ

・被災者宅への同行

かつどうまえ じゅんび
 ●ボランティア活動前の準備

・ボランティア募集(地区ボランティアバンクへ呼びかけ)
 ・場所の調整(駐車場やトイレ、受付場所など)

かつどうひ うんえい
 ●ボランティア活動日の運営

・活動者へのオリエンテーション
 ・活動者として参加 など

みんなて
 やったよ！



ボランティア
 バンクとは？

「困ったときはお互いさま」の気持ちで
 ちょっとした困りごとを地域で解決して
 いくための仕組みです

へいせい ねん がつ ごう さいがい
 ~平成 30 年 7 月豪雨災害~

ちいき じぶん
 地域と自分にできること

自分のできることで
 応援しよう



かたち おうえん しかた
 いろんな形での応援の仕方

防災士として
 現地へ同行



うんえい
**運営
 ボランティア**

受付や資機材の整理
 資格を活かした
 協力など

運営ボランティア
 手作りのボード



ばしょ ていきょう
場所の提供

駐車場やトイレ
 など

しえん ぶつし
**支援物資の
 寄付**

飲み物や軍手
 土のう袋
 など

ぎえんきん
**義援金
 支援金の
 寄付**

地域団体や施設・
 学校・企業などから
 たくさんのご協力を
 いただきました!



さいがい そのな
 災害への備え...

きんじょ かんけい
となり近所との関係づくり
 となりに住んでいる人を知ろう!

顔なじみになり、互いに
 声をかけあうことで
 気にかけてあえる関係が生まれます

ぼうさい さくせい かつよう
防災マップの作成・活用
 住んでいる地域を知ろう!

改めて地域を見つめ直し
 危険区域や避難所などを
 マップにまとめると便利です

もしもの時のために
 今からできること

こうざ けんしゅうかい かいさい さんか
講座・研修会の開催・参加
 災害の知識をつけよう!

知っているのと
 知らないのでは大違い
 経験談も参考になります

ひなんくんれん かいさい さんか
避難訓練の開催・参加
 シミュレーションしてみよう!

考えるだけでなく
 実際に動いてみることで
 発見できることもあります

さいがいじ ひ
災害時には日ごろのつながりや備えが重要です!

